

(様式2(1))

事業所名 グループホームまんでんたるみ東

作成日: 令和 5 年 3 月 31 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「看取りに関する同意書」や「緊急時意思確認書」について、現在の仕組みに加えてさらに具体化に向けて検討され、利用者・家族や事業所、医療機関の立場で、適切な仕組みづくりに期待したい。	「看取りに関する同意書」「緊急時意思確認書」において、ご本人や家族の意思がより反映できるようにする。 多職種での連携を強化	看取り研修の実施 ご逝去時のカンファレンスの実施 看取り期における定期的なカンファレンスの実施 看取り期における多職種(ご家族様も含む)との連携によるカンファレンスの実施 同意書、確認書へ可能な限りご本人の自筆で書いて頂き、定期的(1年に1回)に意思の確認を行う (自宅に戻る意思があるのかなども定期的な確認の中で行う。)	12ヶ月
2	35	介護保険制度の改定でBCPの策定が2024年4月より義務化されている。策定、研修、訓練など取り組みに期待したい。	業務継続計画に基づき、職員がいつでも閲覧でき、分かりやすいような形で開示し、全員が常に内容が把握できるようにしておく。	ハザードマップ等の確認、各種の災害時の対応についての研修、訓練を継続的に行い、研修内容を書面化する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。